

令和3年度 第1回 野々市市子ども・子育て会議  
会議録（要旨）

日 時：令和3年11月10日（水）

午後7時～

場 所：野々市市情報交流館  
カメラア ホール椿

1 出席委員 全体会議 18人（欠席2人）

2 配布資料

資料1 野々市市子ども子育て支援施策の現状

資料2 放課後児童クラブの状況

3 会議録

◎ 全体会議

1 開会

会議の成立を報告

2 委嘱状（辞令）交付

市長より委嘱状交付

3 市長挨拶

4 自己紹介

委員、事務局職員自己紹介

5 会長・副会長選出

徳野委員が会長に、井川委員が副会長に選任

6 議事

（1）野々市市の子育て支援施策の現状

説明【事務局】 資料1に基づき説明

【委員】

今の保育現場を眺めてみると、2019年の無償化をきっかけに、保育の質を議論する場が

増えて参りました。

この保育の質の議論が出てきますと、教育的な色合いもある程度強くなってきています。そうすると、自治体がどのような役割を担っていくかということも大きな課題になってきていると思います。

保育の質を問うという点で、地域の養育力を高めていくことについて少し検討がなされればよいかなと思っています。

まず1点目として、子育て世代包括支援センターがスタートして半年になりますが、展開されている事業内容や現況につきまして、少し具体的にお知らせいただきたい。

2点目として、発達相談センターについて、相談件数を見ますと幼児と小中学生が多くなっていますが、現時点での、発達相談センターの様子も少し、教えていただきたい。

3点目として、養育支援訪問事業について、令和2年度は50数件ぐらいの訪問事業があったようですが、おそらく、保育士さん、保健師さん、出産に関することなどは助産師さんも動いていらっしゃると思いますが、養育に関しては本当に難しさも秘めておりますので、このあたりの訪問事業の様子も少し、教えていただきたい。

#### 説明【事務局】

1点目の子育て世代包括支援センターについては、今年4月から設置いたしております。保健センターでは利用者支援事業の母子保健型、子育て支援センター菅原では利用者支援事業の基本型を行っており、その二つが連携することによって、子育て世代包括支援センターの機能を担っています。

保健センターの方では、子どもの健診がありますので、市内のほとんどの乳児幼児について、チェックすることが可能であり、そこで保護者の方からの困りごとや、子どもの発達の遅れについての相談などを拾い上げながら、必要な方に対して支援をしています。

支援センター菅原については、保健センターのような、全件数、市内の子どものほとんどをチェックするという機能はございませんが、積極的に相談窓口であるということをアピールするとともに、気軽に相談していただける場として機能していると思っております。

また、その横に発達相談センターがありますので、発達に関する相談につきましては、専門の機関である相談センターで相談を受けることもできるようになっております。

4月に立ち上げたばかりですので、それほど件数というものはありませんけれども、この二つのセンターが、定期的に情報共有や支援の検討をなどをしておりまして、着実に相談機能として前進していると思っております。

続きまして、2点目の発達相談センターについては、相談のほとんどが幼児であったり、小中学生、低年齢時に相談を受けるということが多くなっています。

そこで、より一層、低年齢のうちからの関わりを強化しようと考え、今まで福祉総務課の所管であった発達相談センターを、今年度から子育て支援課所管に所管替えいたしました。また、今年度から、ペアレントプログラムというものを実施しており、こちらは、子どもの育て難さであるとか発達にちょっと不安を覚えているような保護者の方が集まり、お互いにその生活、悩み、本音などを話したり、専門の先生に立ち会っていただいて、適切な助言等をいただくもので、全部で6回ワンクールの事業になっております。

今年度もうすでに1回目終了をしておりまして、参加者からの感触は概ね良好だったというふうに聞いております。

続きまして3点目の養育支援訪問事業については、まず、現状についてお話しします。

0歳から5歳までの住民基本人口が、平成30年から令和3年度の3年間には240人ほど減少していますが、出生数はそれほど大きな減少というものは見られていなく、保健センターでは、毎年、600人を超える方に、母子手帳の交付を行っております。

養育支援訪問事業についてですが、こちらは産後うつ症状の高い方や、医療機関から連絡を受けた方などを対象に、保健師や助産師がご自宅へ訪問しております。

そこで対面によりお話を聞きながら不安に思うことや心配なことを聞き、アドバイスをするなどのサポートをしております。

保健師については、主に健康推進課の保健師が、例えばサポートが必要になった母子の居住地区を担当している保健師が訪問するような地区担当制により訪問し、サポートを行っております。

このことにより、相談をしたいお母さん方も、毎回、同じ保健師が自分の悩みを聞いてくれることで、1から説明をする必要もなく、これまでの状況も把握していることから、安心して相談ができる、そういった体制を整えております。

#### 【委員】

いろんな支援センターであったり、いろんな支援体制が整っており、大変素晴らしいことだと思うのですが、利用する側からすると、例えば市役所に来て支援課で相談する、あとは保健センターで定期健診について相談をする。その他、支援センター菅原であったり、各所にあるのですが、ちょっと敷居が高いといえますか、どこに行っても相談すればいいのかということと、知名度が結構低いと正直感じています。

例えば、カミーノやカレードなど、子どもも行くようなところに、そういった総合的な窓口というものがあれば、もっと相談し易くなるのではと思います、意見させていただきました。

#### 説明【事務局】

周知不足というところでは耳が痛いのですが、今後は周知にも力を入れていきたいと思っておりますし、今、ご発言いただいたように、気軽に普段行っているような場所で相談できたらいいというのは、全くその通りだと思いますので、今後の施設整備等に際して検討していきたいなと思っております。

#### 【委員】

資料の人口の増減について、子ども会としては青少年人口が、メインターゲットなのですが、減った理由は不明です。様子見ますと言いますが、何年後に様子見るのですか、という確認と、3ヵ年ではなく、1年にした時に増減が見えるのではないかと、いうところもあります。

今後、我々子ども会で、子どもの人数が減って子ども会を減らしましょうとか、もう存続できませんとか、結構死活問題になります。ここら辺もう少し本当は詳しく聞きたい。

どういう推移なのか、今ここで答えを求めませんが、現状報告するならもう少し詳しく教えて欲しいなと思っております。

説明【事務局】

ご意見をいただいた通り、不明のままで流すべきものじゃなかったのかもしれませんが。来年度は、計画の中間見直しの年度になっております。その時には、後半の計画期間において、修正すべき子どもの人数の推計等、確認しながら、今後の2年間の必要なサービス量などをと検討していくことになりますので、来年度はもう少し人口について詳しく調べたものでご提示できるかなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(2) 野々市市の保育園・認定こども園の状況について

説明【事務局】 野々市市の保育園・認定こども園の状況について説明

《質疑なし》

(3) 放課後児童クラブの状況について

説明【事務局】 資料2に基づき説明

《質疑なし》

7 その他

【委員】

本町児童館の前を通ったのですけれども、もう大分古くなっているなと思いつつ見てきたのですけれども、今後、児童館については建て替えご予定はあるのでしょうか。

説明【事務局】

本町児童館につきましては、昭和57年の建築になっており築約40年となっています。確かに老朽化が進んでおり、近年は修繕費が多くなっており、遊戯室には冷房がなく、トイレは和式のみとなっています。市の公共施設個別施設計画の中で本町児童館については、機能の統廃合や民営化について検討するということになっております。今のところですけども、担当課としては、同じ菅原小学校区には、中央児童館という、もっと大きな児童館があることから、年々、利用者数が減少している本町児童館については、中央児童館に機能を集約し、本町児童館については、廃止したいと考えており、早くて来年度いっぱいまで廃止するというような方向で、現在、検討しているところです。児童館の廃止の検討ということもあり、いきなりの話ではありますが、委員の皆様には、何かご意見あれば、お聞かせいただければと思っております。

【委員】

児童館が統廃合の選択になることによって生じる、課題であるとか、市民の皆さんに影響する不利益があるようであればそれをどうフォローしていくかという方策が、今のわかる範囲で構いませんので、もしお考えがあるのであれば教えてください。

#### 説明【事務局】

廃止することによる不利益ということですが、施設の近く、本町地区の方が、昔から通いながれた施設がなくなるということで、喪失感みたいなものはあるかもしれないです。近くに新しくカミーノという施設ができており、そこは公民館機能、民間商業施設や市民活動センターなどが、複合的に入った施設になっております。カミーノでは親子、子ども向けの行事が増えてきており、親子連れの利用が多い施設となりますので、そちらで少し機能を担っていただければと思いますし、児童館という意味で言えば先ほども申しました通り、同じ小学校区内に、中央児童館がありますので、そちらを使っていただければと思います。

#### 【委員】

中央児童館も、老朽化していると思うのと、あと児童館は未就学児親子が利用することもあります。小学生以上の子どもが自らの意思で自分たちの居場所として児童館を利用するっていうことが、大切な目的だと思います。カミーノや市民活動センター等の施設はとても素晴らしいと思いますが、やはり子どもが本当に自由に通い交流し、職員に話を聞いてもらうような居心地のいい場所として児童館があると思うので、やはり統合するということが本当にいいことかどうかというのは疑問に思います。

#### 説明【事務局】

現在ある施設をなくすっていうのは、公共施設に限らず、普通のお店とかでも、なくなれば不安ということはあると思います。市としては、各地域に適切な量の施設を確保するということを考えており、現在は同じ校区内に2つの児童館があるという状況になっていますので、できたら、統廃合で考えていきたと思っています。

市内児童館の中核的役割を担っていく必要のある中央児童館についても、築40年近くの施設となりますので、建て替えなり大規模修繕なりを含めて、適切に維持管理していく計画となっています。

#### ・子ども食堂について

説明【事務局】 子ども食堂について説明

#### 【委員】

子ども食堂は、新しい問題ですが、現在、子ども食堂はあるのですか。それとも、これから立ち上げたいっていう意味なのでしょうか。

#### 説明【事務局】

今、野々市市で定期的開催しているというところはございません。

市の直営ということは今のところ考えておりませんが、例えば金沢市であれば、子ども食堂を立ち上げたいという市民団体に対し、その立ち上げ支援ということで、補助金を出しておりますし、社会福祉協議会などでは、運営費の支援もしていると思うのですが、このような、市からの補助のようなものを積極的に行うべきなのかどうか、現在、やりたいという具体的な話もないので、そういったことが必要なのかどうかを、検討しているところ

です。急な話で、申し訳ございませんが、もし、今、ご意見お持ちの方いましたら、少しお聞かせいただきたいと思います。本当に何か決めるというわけではなくて、皆さんがどう思っているのかを聞きたいという、趣旨でございます。

#### 【委員】

対象の想定人数とか、金沢では現在どの程度の利用者数があるという具体的な数字から想定しないとわからないと思います。

今、例えば貧困家庭の方、共働きの方の中から、子ども食堂を立ち上げて欲しいというお声があるのか、もし立ち上げたらそれだけのニーズがあるのか、子どもたちが集まるのか、が気になった点です。

#### 【委員】

学童保育の指導員をしております、うちのクラブでは、夜8時までの保育時間です。

子どもたちが1人でご飯食べなくてもすむこども食堂の新聞等を見てると「いいな」と思いますけれども、月何回かの、営業で、本当に子どもの孤食や寂しさを回避できるのかなと思う反面、1日でもそういう楽しい思いがあったらいいのかというところです。

学童クラブに通っている子どものお父さんやお母さんおばあちゃんを見ていると、バタバタと来られて子どもたちが「こんなことしたよ、こんなことしたい」と話しても「そうねそうね」と言いながら「ご飯何食べる？」みたいな日々だと思います。

しかしなかなか運営するのも、大変そうなのを見ていると、どうやっていけばいいのは疑問に思います。ないよりあった方がいいと思いますが、内容がとても重要なのではないのでしょうか。今、子どもたちと直接関わっているものとして感じます。

#### 【委員】

子ども食堂というのは、小学生の対象が多いのかなと思いますが、保育園に通っている0歳から5、6歳の子が、1人で子ども食堂に食べに行くっていうのは無理だと思うのと、あと日々お仕事で忙しいご両親と離れて、保育園でお預かりしていますが、幼児期のお子さんたちにとっては、せめて食事を食べるときぐらい一緒にと思います。ひとり親家庭の方も、大変苦労されている保護者もいますが、やはり迎えに来てくれた保護者の方と一緒に、家に帰って「お腹すいたね何食べようか」というやりとりを聞いていると、やはり親子での食事っていうのが、すごく大切ではと保育園の現場では感じております。

ただその小学校高学年の子が1人家でご飯食べるのはすごく寂しいと思うので、そういう子ども食堂という場があって、何人かで楽しく食べるのもいいと思います。

#### 説明【事務局】

本市では今は子ども食堂が立ち上がったところはありません。

一部やってみたいというところもあるのですが、そこまで具体的な話にはまだなっていないというような状況で、それを積極的に支援していくべきなのか、それとも市民の機運が盛り上がってきて、手づくり弁当でやるのがいいのか、迷っているというような状況です。各委員から、本当に貴重なご意見いただきましたし、保育園や放課後児童クラブに通っている方にご意見を聞くことがもしかしたらあるかもしれないので、ご意見いただきますよ

うお願いいたします。

【委員】

議案として協議するのであれば、どのぐらいの需要があつて、実際にやる効果があるのかということがまず見えてこないと難しい。後は市として助成をするか、助成をして果たしてそれが成り立って子ども食堂を立ち上げました、始めました、駄目でしたと、すぐになってしまうのではという恐れがあつて怖いと思うのです。

現にフードバンクなど今いろんな事業をやっていますが食べ物が余るということもよく聞きますので、その辺に関して調べていただいてまた議案として出していただければよいかと思います。

【委員】

行政としても取り組んでみたい、こういう規模でやりたいとある程度の枠を示さないと、今何も考えていないがこれについてどうですかと言われも、答えは出ないと思います。何かアイデアや意見があれば、子育て支援課の方に申し出て、次の会議の時に話ができるほうが良いのではと思います。

説明【事務局】

今回は突然の意見を求めることになってしまいまして、本当申し訳ありませんでした。今後、いただいたご意見等を精査しまして、必要であればまた、議事の方に上げさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

8 閉会